

校長通信 調和

発行
校長 寺島克彦
〒384-0023
小諸市東雲4-1-1
TEL 0267-22-0216

題字 渡邊虚舟

明けましておめでとうございます

今年も良い年でありますように！ さて、明るい2018年は誰が作るのか

2018年は皆さんにとってどんな年になるでしょうか。皆さんはこの年にどんな希望や目標を持って新年を迎えたでしょうか。

2018年が小諸高校生と小諸高校を支え、応援してくださる皆様にとって、これまで以上に素晴らしい年となることを祈ります。

さて、この年末年始、皆さんはどう過ごしたでしょうか。センター試験に向けラストスパートの真っ只中にある三年生はともかく、1・2年生の皆さんは普段よりは多少時間のゆとりもあったことと思います。「自分で選択した有意義な時間」を持つことができたでしょうか。私も久しぶりにゆっくりとした年末年始でした。

そんな時間の中で、気になった言葉と新聞記事があったので紹介します。

一つはザッピングしていた時（ザッピング=zapping=テレビの視聴において、リモコンで頻繁にチャンネルを変えながら視聴する行為のこと）番組名や内容はわからないのですが、そこに映ったお年寄りのインタビューの際、「来年も良い年になると良いですね」と言ったスタッフに対して、そのお年寄り（90歳くらいの女性）が言った言葉。「**良い年はあんた達がつくるんだよ**」が耳に残りました。その時は、いいこと言うなあと思いつつもチャンネルを替えてしまったのだけど、何だかその後も、その言葉が頭に浮かんだ。もしかしたら「良い年を作ってね」だったかもしれないが「確かに今（現在）は90歳のお年寄りではなく、私たちが作っているのだ」と今更ながら思われました。

もう一つは1月3日の新聞記事。これは皆さんの中にもこの記事を読んで心を打たれたひとがいると思いますが「ローマ法王 長崎の写真配布指示～被爆後撮影 平和を訴え」の記事です。

写真は「焼き場に立つ少年」の写真。坊主頭にした裸足で半ズボン姿の少年が小さな子をおぶって直立している写真。記事は、ローマ法王が「その写真をカードに印刷し、『戦争が生み出したもの』との言葉を付けて広めるように」と指示した、というものだった。そして、カードの裏面には『亡くなった弟を背負った少年が火葬場で順番を待っているところだ』との説明があり、法王の署名とともに『かみしめて血のにじんだ（少年の）唇により悲しみが表現されている』と記載されているとのこと。

記事を読まずにこの写真を見ただけなら、「昔の少年が眠った幼子をおぶった、けなげな姿」としか映らないかもしれない一枚の写真。記事を読んだとたんに、胸が苦しくなった。

小諸高校生には「**今も、これからも良い年を作るのは私たちだ**」と考えられるようになってほしいと強く思った年始でした。

スクールバスの運行 感謝を忘れないように

一昨年から本校のスクールバスの運行に際しては、小諸市から大変大きなご支援をいただいています。本来ならば県立高校である小諸高校のスクールバスですから、県と学校で運行すべきものですが、小諸高校への支援と小諸市の活性化を目的に、多額の援助をいただいています。スクールバスを利用する皆さんにはこのことを理解して感謝を忘れず、特に次のことを踏まえて利用してください。

- ① 乗車の際には、一人でも多く乗車できるように、全員が心配りを。
- ② 雨天や雪の場合、込み合う時間を避けて、早めの登校、乗車を。
- ③ 乗車マナーの徹底を。 挨拶、私語、忘れ物・・・